

そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

2015(27)年 週 報

5月17日
第3聖日
第3404号

「奥義と啓示」

聖
言

先に簡単に書いたとおり、この奥義は、啓示によって私にしらされたのです。
エペソ3:3

礼拝の恵み 第二〇章
第八節 礼拝の障害
第四節 怠慢
これは、神が信者の心の中に礼拝をよびおこすために用意された手段を使うのを、面倒くさがうて怠ることを意味する。われわれは前にこの研究のなかで、神がキリストにあつてかれのために用意されたものを、しっかりとつかむときに、おこなわれる。また礼拝はあくびをしていて出来ることではない。また霊的な無感動や怠慢の雰囲気の中で出来ることでもない。礼拝の実は怠慢の畑では生じない。たえまない培養によって生じる。それには精神と意思とをしっかりと使うことが必要である（箴言二四ノ三〇〜三四）。礼拝の火が朝の犠牲の煙のように絶えず神へと立ち上るためには、燃料をたえず新たに加えることが必要である。ここに言う燃料とは、神の言葉を研究し黙想し、それに服従することと、それから祈りと献身の生活である。この燃料が送られないと、魂の祭壇の上での礼拝の火は消え、神は求めるものを受けられないであらう。（「礼拝」ギブス）

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp